

二十五年度予算

予算特別委員会 Q&A

総務部

Q 宮川振興事務所の整備計画は。

A 現在の建物を取り壊し建替え、規模は縮小し、コンパクトなものを作る。設計を行いつながり予算金額を決定する。

Q 公共交通のあり方を検証する680万円の内容は。

A 国の補助金を利用して、公共交通の全面的な見直しを行う。コンサルへ委託して、現状分析、巡回バス、スクーパバス、有料バスなどのあり方を検討する。

Q 起し太鼓会館の土地は、公売するのか。

A 今年度、早い時期に公売したい。

市民福祉部

Q 風しんワクチンの費用1万円に対し、補助金8千円は、結構なこと。ワクチンの副反応はどうか。

A 市内で重篤な副反応は出ていない。

Q 今問題になっている子宮頸がんの接種率は。

A 平成24年度までの対象者は1,804名、接種者は397名で接種率は22%。

Q 発達支援センターの臨時職員1名増員の理由は。

A 支援学校が出来たことに伴い障害のある方の就労支援など充実していくため。就労のニーズ調査、データベースを作成する。

教育委員会

Q プールに入る感染対策の基準と教育は。

A 事前に保護者と本人に対し健康チェックしている。また、塩素濃度のチェックで感染防止に努めている。

Q 感染者がプールに入ってしまう例があるので先生の監視を。

A 当然入るまえにチェックしている。感染した子どもに対する人権保護にも十分配慮しているのご理解を。

Q 船津座を社会教育施設から観光施設に所管を変更した

理由は。
A 船津座については、船津地区のにぎわいを創出する施設であるとの協議がなされ変更した。

企画商工観光部

Q まちづくり協議会支援業務委託の1千万円は何人のコンサル費用か。

A 会社との契約で1名の予定。10月にならないと飛騨市に入れないし、まだ決まったことではない。それ以前のコンサル業務を含んだ金額。

Q まちづくり協議会の全体が見えない。本質がわからない。商品開発とかなら、商工会議所や商工会でいいのではないか。

A 観光は滞在型でないと生き残れない。市内の観光資源を、観光客が満足して対価を支払えるような高付加価値観光商品とするにはどうしたらよいかを考えるための協議会である。

Q 指定管理施設の工事請負費。民間並みのスピードで対応できないのか。

A 急なものは予算費で対応している。考え方としては、予備費を使ってしっかりやっていく。

Q 季古里の浴室天井板落下

事故は5月の連休中であるが対応は。
A 緊急に天井を取り外し、入浴に支障がないことを確認している。

環境水道部

Q 県道改良に伴う工事の場所は。

A 河合町の保木林小規模水道。

Q 人員が1名減だが仕事はできるのか。

A 兼務でやっている。各会計の財政状況を見て人件費を振り分けている。

農林部

Q 農業経営所得安定対策事業・集落営農システム確立事業の参加戸数、面積、決算状況は。

A 太江営農組合で平成23年からやっている。集落125世帯の内農家86戸中76戸が加入。田19ha畑4ha。決算は法人化していないのでない。

Q 里山エリア外来植物の駆除の方法は。

A 太江で伐採、伐倒、刈払いを行う。除草剤も使用。

Q ニセアカシアは何本あるのか。何%するのか。

A 面積は3haで、内1ha分位できればいい。

Q 駆除事業は今後も続けるのか。
A 地区と共同で駆除していく。

基盤整備部

Q 市営住宅整備工事の内容は。

A 杉原団地1号棟の老朽化に伴う屋根修理を実施する。

Q 公園遊具修繕事業200万円について修繕の状況は。

A 現状を点検して部分的な修繕を実施している。また必要に応じ更新も検討する。

Q 山之村大規模林道の陥没現場の工事進捗状況は。

A 現在、床堀を実施。予想以上に悪い土質があり調査中。安定処理の変更を検討している。

Q 大津山の道路。12月補正でもあったが今回ののは。

A 冬季のため繰越事業で行っている。今回の補正は飛騨農林事務所で山腹の治山事業予算が付いたので関連して道路分を施工するもの。

